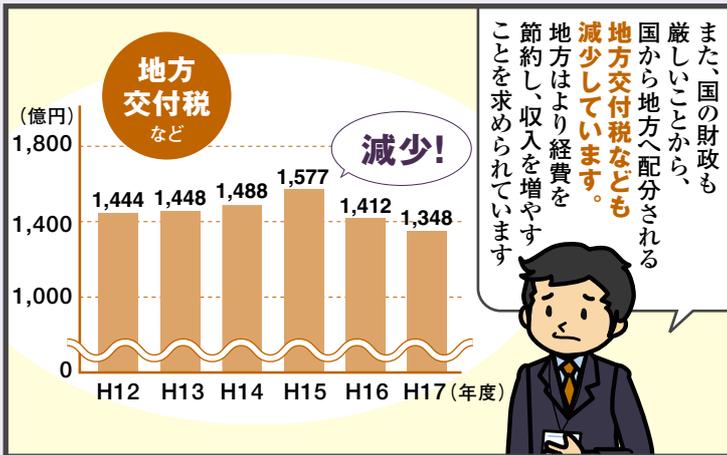


理由1
節約できない経費が増える!

大きく二つの理由があります。まず一つ目が…



急激な景気の回復は望めず、少子化の影響で、人口の構成も変わってきており、税収の大幅な伸びが見込めません

支える人の割合が減る

理由2
収入の伸びが見込めない!

もう一つの理由が…

次のページから19年度予算の内容を紹介します!

19年度予算の場合 118億円の収支不足

69億円を工夫や見直しで解消、49億円を貯金(財政調整基金)の取り崩しで対応しました

18年度において46億円を、19年度において49億円を取り崩した場合の貯金(財政調整基金)の残高は55億円となる見込みです。

だから札幌市ではお金の使い方、集め方を工夫し、収支不足を解消しながら予算をつくり、限られたお金をできるだけ有効に使うよう努めているんです!

入ってくるお金の増加は見込めないけど、出て行くお金が増えていくことは明らかだから、不足が生じるというわけか…

うむ…

市はどんな工夫をしているの?

市役所が努力して節約する 効果 18億円

職員数の削減や給与の適正化、光熱水費の節減などを図ります。

市の仕事や利用者の負担を見直す 効果 3億円

民間でできる仕事は民間主導のサービスに移行させるほか、サービスの利用者負担額を、経費に見合った額を基準に見直します。

資産を有効に活用する 効果 42億円

市の土地で使う見込みのないものを売り払うなど、市の資産を有効に使います。

事業を重点化する 効果 5億円

道路、公園の整備といった公共事業などについては、必要性の高いものに重点化します。

収入を増やすよう努める 効果 1億円

ホームページや納税通知書を発送する封筒などへ新たに有料広告を掲載する広告事業を推進します。

※効果額は19年度の見込み額です